

オーバルネクストETF情報

2011年1月17日号



TEL 03(5641)5777

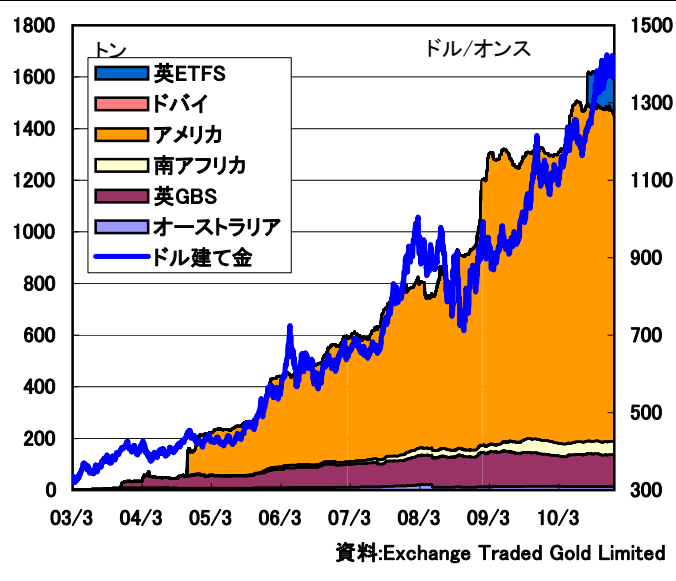
(株) オーバルネクスト
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 7-2

弊社ホームページで本レポートを無料公開中
<http://www.ovalnext.co.jp/>

 **Oval Next Corp.**

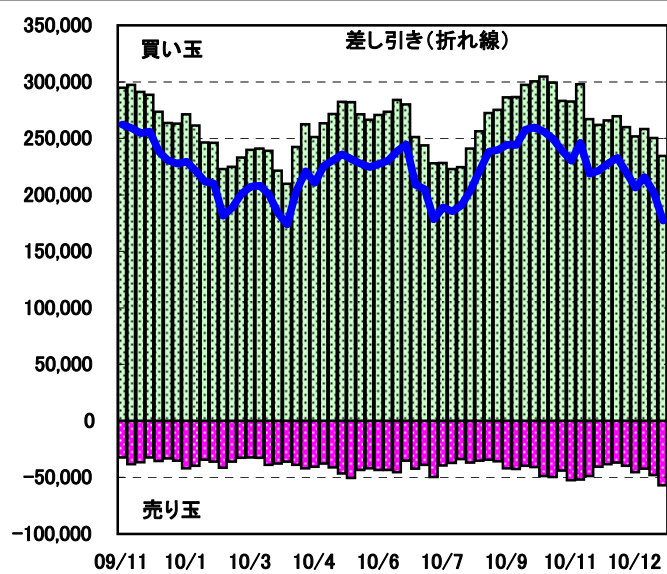
ETF残高減少、先物買いも縮小

●金ETFの現物保有高



●大口投機家の取組=CFTC・NY金

単位: 枚



■中国の利上げなどで投資資金の流出が続く

米商品先物取引委員会(CFTC)の建玉明細報告によると、1月11日時点のニューヨーク金の大口投機家の買い越しは17万7,372枚となり、前週の20万2,318枚から縮小し、2009年7月28日以来の低水準となった。今回は手じまい売りが1万8,972枚、新規売りが8,974枚出て、買い越しを2万4,946枚縮小した。一方、14日のニューヨークの金ETF(上場投信)の現物保有高は前週末比11.84トン減の1,259.33トンとなった。欧州の債務不安も各国の国債入札で堅調な需要が示されたことから不安感が後退した。また米国の景気回復期待や中国の利上げなどが売り要因となった。

ドル建て現物相場は、12月7日に史上最高値1,430.09ドルを付けた。欧州の債務不安に加え、バーナンキ米連邦準備理事会(FRB)議長が量的緩和を拡大する可能性を示唆したことなどが支援要因になった。プッシュ減税の延長合意をきっかけに国債増発懸念が出て長期金利が上昇すると、調整局面を迎え、16日に11月29日以来の安値1,361.45ドルを付けた。その後は欧州の債務不安の再燃などが下支えになると、ドル安などに支援されて約1カ月ぶりの高値1,423.32ドルを付けた。ただ年明け後は米景気回復期待や中国の利上げなどを受けて再び調整局面を迎えた。

中国人民銀行が14日に預金準備率を0.50%引き上げることを発表した。インフレ抑制で中国の投資需要が伸び悩むと、金の上値は重くなりそうだ。一方、米国の景気回復期待が強いが、今週は米住宅着工件数などの発表があり、住宅市場の動向が注目されそうだ。欧州では国債入札で好調な需要が示されたことから不安感が後退した。また欧州金融安定ファシリティ(EFSF)の規模と適用範囲の拡大を求める声もあり、話し合いの行方が注目される。

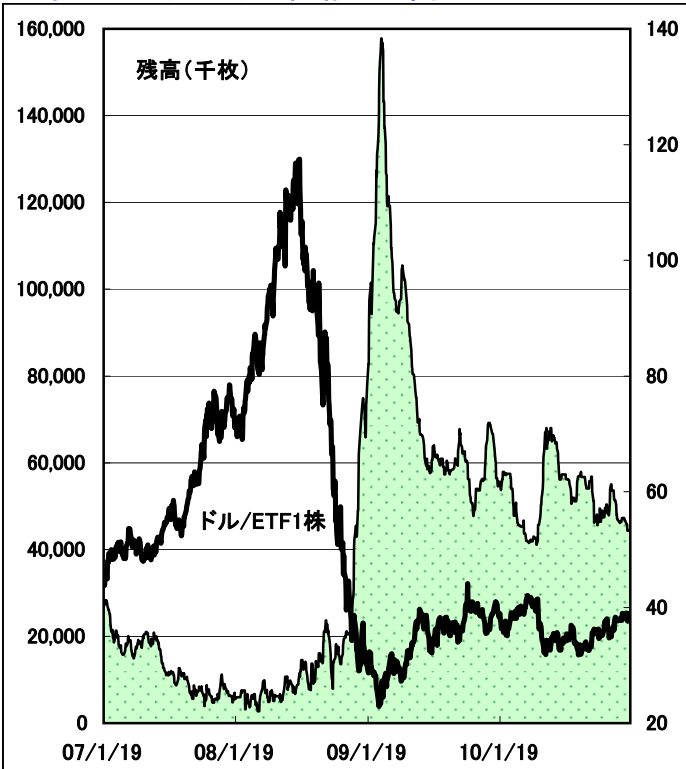
(オーバルネクスト 東海林勇行/1月17日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

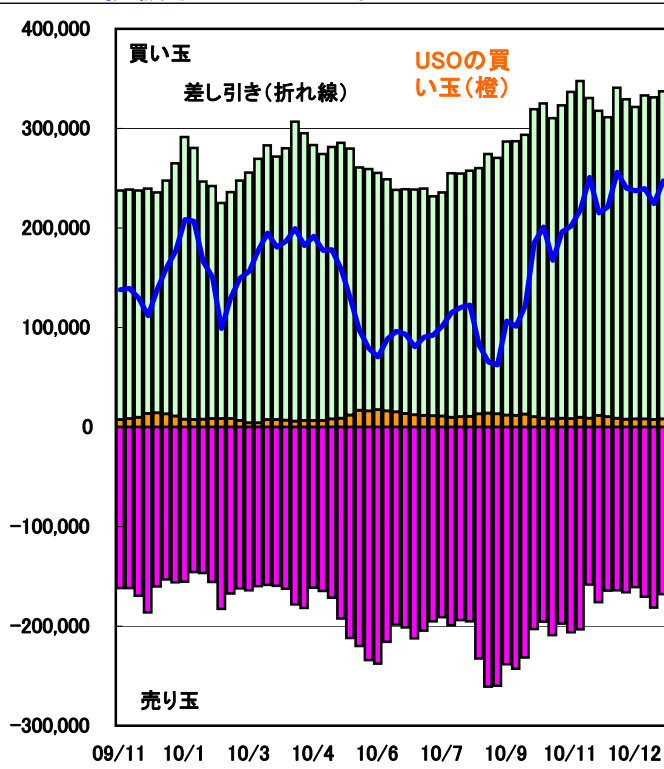
ETF残高増・NY先物買い拡大

●原油ETF(USO)の価格と残高



●大口投機家とUSOの取組

単位:枚



■最近の動向と材料

ニューヨーク証券取引所(NYSE)で取引されている原油ETF(コード:USO)の残高は1月14日時点で4,490万株となり、前週末比60万株増加した。ニューヨーク原油はドル安や在庫減少などに支援されて地合いを引き締め、再び92ドル台に上昇した。

USOが先物市場につないでいる原油の買い玉は14日時点でニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で8,870枚(前週末比1,553枚増)、Financial Futureが2,000枚(同変わらず)、インターコンチネンタル取引所(ICE)で8,000枚(同1,500枚減)となっている。

米商品先物取引委員会(CFTC)建玉明細報告によると、1月11日時点のニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)の原油の大口投機家の買い玉は33万7,239枚(前週33万1,128枚)、売り玉は16万8,154枚(同18万1,662枚)で16万9,085枚の買い越しとなり、前週の14万9,466枚の買い越しから1万9,619枚買い越し幅を拡大した。USOの買い玉は大口投機家の2.4%(同2.3%)を占めている。インターコンチネンタル取引所(ICE)のWTI原油の大口投機家の取組は、買い玉が6万4,013枚(同8万4,193枚)、売り玉は2万3,350枚(同1万7,038枚)で4万0,663枚買い越し(同6万7,155枚買い越し)に縮小した。USOの買い玉は大口投機家の13.3%(同11.9%)を占めている。

【原油ETF残高と先物ポジション】

	United States Oil Fund, LP			先物ポジション			
	終値	出来高	残高	NYMEX	Financial Future	ICE	限月
11/1/10	38.17	7,832,064	44,300	3,439	1,000	5,000	11/2
				4,310	1,000	4,000	11/3
11/1/11	38.88	7,070,422	44,300	1,722	500	2,500	11/2
				6,460	1,500	6,000	11/3
11/1/12	38.99	7,462,059	44,300	8,618	2,000	8,000	11/3
11/1/13	38.65	6,403,019	44,300	8,618	2,000	8,000	11/3
11/1/14	38.92	6,097,649	44,900	8,870	2,000	8,000	11/3

単位:残高は千株

資料:NYSE、USO

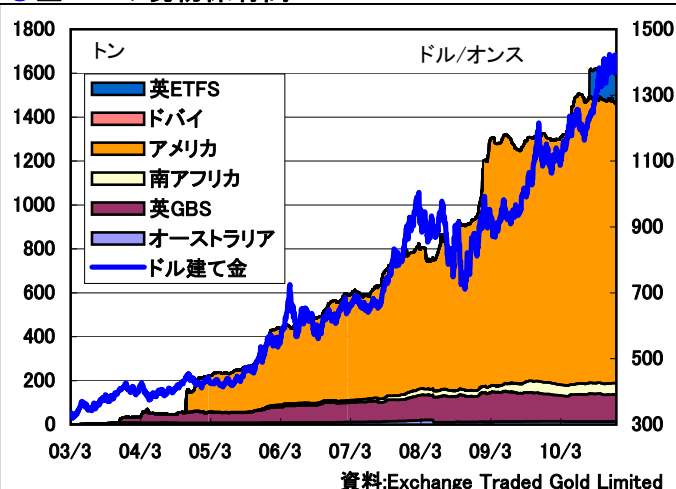
(オーバルネクスト 東海林勇行/1月17日記)

<免責事項>

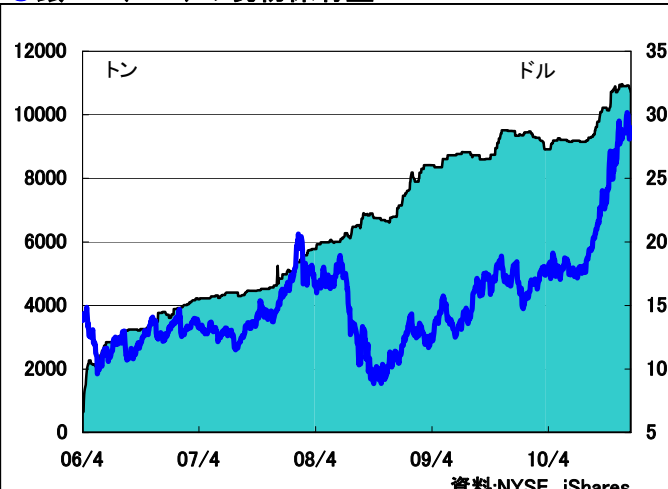
オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

NYの金ETFは減少一服も戻り場面で売り

●金ETFの現物保有高



●銀ETF(SLV)の現物保有量



■最近の動向と材料

世界13カ国に上場している金ETF(上場投資信託)の現物保有高は、1月12日時点で1,592.03トンとなり、前週末比0.33トン減少した。ニューヨークで0.30トン、南アで0.11トン増加したが、英GBSで0.60トン、英ETFSで0.14トン減少した。ニューヨークでは10日に1.52トン増加したが、戻り場面で1.21トン減少し、米景気回復期待などを背景とした売りが出たもよう。欧州の債務不安などが支援要因だが、上値を買う向きは少ないようだ。

ニューヨーク証券取引所(NYSE)の銀ETF(コード:SLV)の現物保有量は前週末比113.96トン減の1万0,725.73トンとなった。ETFセキュリティーズの銀ETFの現物保有量はロンドン(コード:PHAG)が同2.38トン減の974.56トン、ニューヨーク(コード:SIVR)が同横ばいの517.18トンとなった。年が明け、米景気回復期待の高まりなどを背景としたポートフォリオ調整の動きなどを受けて売られたもよう。

【金ETF現物保有量詳細】

	豪州	英GBS	英ETFS	南ア	米国	ドバイ	合計	金現物相場
11/01/06	14.21	123.24	132.42	50.99	1272.68	0.15	1593.70	1,371.09
11/01/07	14.21	123.52	132.32	50.99	1271.16	0.15	1592.36	1,368.92
11/01/10	14.21	123.07	132.21	50.99	1272.68	0.15	1593.32	1,375.87
11/01/11	14.21	123.06	132.21	50.99	1271.47	0.15	1592.09	1,381.37
11/01/12	14.21	122.92	132.18	51.10	1271.47	0.15	1592.03	1,388.40

単位:トン、現物相場はドル/オンス

注:他の金ETFはIshare TRUST GOLD(12日現物保有は117.58トン)、米ETFセキュリティーズ(12日25.53トン)、チューリッヒ・カントナル・バンク(10日188.00トン)など。

資料: Exchange Traded Gold Limited

【銀ETF(NYSE:コードSLV)】

	銀ETF価格	出来高	現物保有量
11/01/06	28.42	27,529,718	10,892.9
11/01/07	28.10	28,778,585	10,839.7
11/01/10	28.29	19,187,520	10,786.5
11/01/11	28.89	17,715,883	10,725.7
11/01/12	29.00	17,526,249	10,725.7

単位: 価格はドル/ETF、現物保有量はトン

資料: NYSE, iShares

注:他の銀ETFはETFセキュリティーズ(ロンドン 12日974.56トン、NY 12日517.18トン)、チューリッヒ・カントナル・バンク(10日2,404.28トン)。

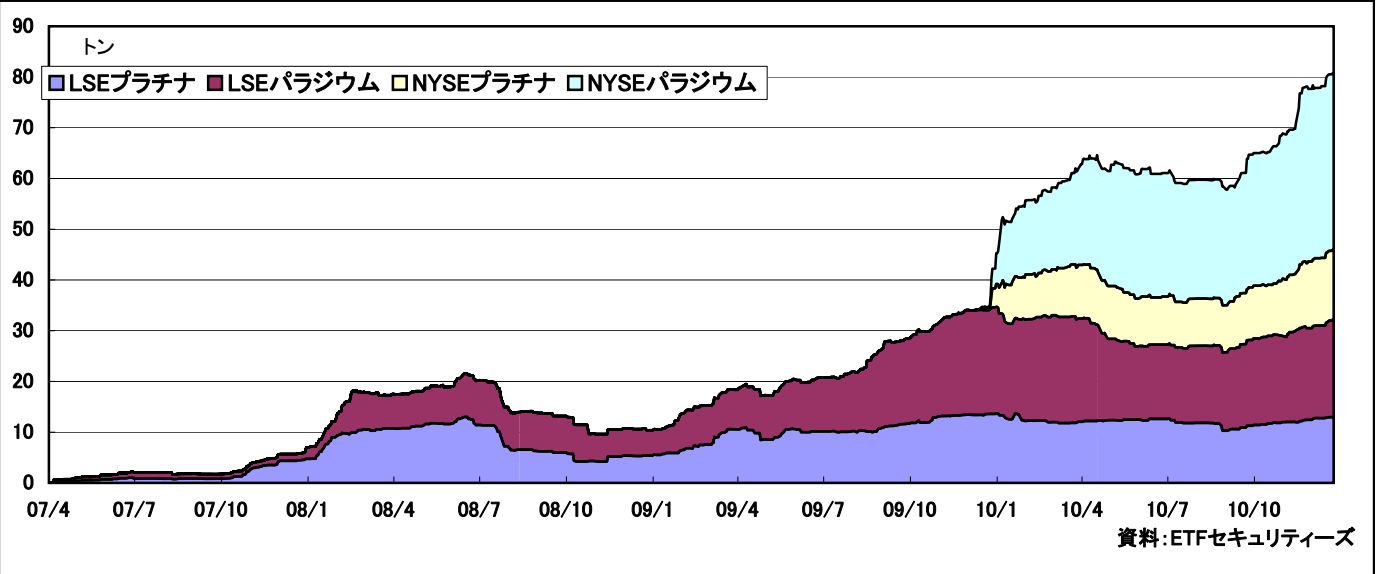
(オーバルネクスト 東海林勇行/1月13日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

ロンドンのプラチナ・パラジウムETFの現物保有高が増加

●PGMのETF現物保有高



■最近の動向と材料

ロンドン証券取引所(LSE)に上場しているプラチナ・パラジウムのETFの現物保有量(メタルセキュリティーズ分)は12日時点でプラチナが12.95トン、パラジウムが19.33トンとなった。5日からプラチナが0.05トン増、パラジウムは0.59トン増となった。米国の景気回復期待の高まりに加え、中国の自動車販売の好調見通しなどが伝えられ、割安なパラジウムの買い意欲が強い。

LSEのプラチナは2008年7月に13.01トンまで増加したのち、自動車販売減少や景気後退による需要減少懸念などを背景に売られて減少した。ただ欧米の金融危機対策などを受けて2008年11月下旬の4.19トンを底にして再び買われた。パラジウムは2008年7月の8.84トンをピークに減少したが、2009年1月後半の4.98トンを底にして再び買われて昨年9月以降に急増した。2010年3月に過去最高21.09トンを記録したのちは景気回復の勢いの衰えなどをを受けて減少したが、6月の14.39トンを底にして再び買われた。

一方、ニューヨーク証券取引所(NYSE)のプラチナ・パラジウムETFの現物保有高は12日時点でそれぞれ13.76トン、34.78トンとなった。5日からプラチナ・パラジウムともに横ばいとなった。

【ETFセキュリティーズ】

	ロンドン証券取引所(LSE)				NY証券取引所(NYSE)	
	プラチナ	パラジウム	銀	金	プラチナ	パラジウム
11/01/06	12.90	18.93	973.90	140.23	13.76	34.78
11/01/07	12.95	19.03	976.93	140.14	13.76	34.78
11/01/10	12.95	19.03	974.97	140.03	13.76	34.78
11/01/11	12.95	19.26	974.56	139.99	13.76	34.78
11/01/12	12.95	19.33	974.56	140.04	13.76	34.78

単位:トン

注:プラチナ・パラジウムETFは他にスイスのチューリッヒ・カントナル・バンクが販売。10日はそれぞれ10.28トン、13.59トン。

資料:ETFセキュリティーズ

(オーバルネクスト 東海林勇行/1月13日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。